

テーブルの上の生物多様性

ユニーの売り場に並んでいる食品は「生物多様性の恵み」です。生物多様性を身近なことに感じ、「私達の毎日の食べ物生き物の命」ということを伝え、自然環境やそこで生きる生き物を大切に守ったうえで生産した食べ物を選ぶことが、生物多様性に貢献することだと知ってもらえるように、努めています。



環境に配慮して製品化する取り組み

ユニーで取り扱う、プライベートブランドの「ブライムワン ノルウェー生アトランティックサーモン」は水揚げ・加工・物流・包装資材にいたるまで、環境に配慮した製品として「eco!on」の認証を受け販売を続けています。

北欧のきれいな海を守るためにさまざまな取り組みを実施しており、養殖場から工場内へはバキュームを使用するため海上付近での活け締めがなく、血で付近の環境が汚染されない取り組みを心掛けています。また、加工では活け締め後、冷やし込みに使用した油のたまったタンク内の汚水は、魚油として再利用することで汚水を自然環境に垂れ流さない配慮をしています。



ノルウェーの養殖場



食品本部 鮮魚部 バイヤー
嶋田大蔵

森林を守る活動

森の町内会

ユニーは、古紙のリサイクルに取り組む「オフィス町内会」が長野県飯島町・駒ヶ根市と連携する「森の町内会」の取り組みに協力しています。「森の町内会」とは、企業が紙を使用する際に間伐にかかる費用を環境評価として価格に反映させた「間伐に寄与する紙」を選ぶことで、森林保全のための間伐を促進する活動です。

ユニーは2012年の環境レポートなどの環境関連印刷物に、6,087.875kgの森の町内会「間伐に寄与する紙」を使用し、長野県の0.33haの間伐に貢献しました。

森の命を守るために（森林保全活動）

ユニーは、エコ・ファースト企業のキリンビールやライオンとの共同企画で植樹活動を行いました。販売キャンペーンに応募してくれたお客様と一緒に木を植え、植えた後も手を入れることで森林を健全に保全することを学びました。



キリンの森の植樹



森林間伐作業

いろんな生き物と生きている

農業体験

食品リサイクルループによる食品循環資源の堆肥で栽培した野菜の収穫を体験しました。堆肥が発酵する時の臭いや熱を体感したり、堆肥で育てた野菜の畑にはミミズやカエルが生息していることを発見しました。



小松菜収穫

エコ博のキッズズー

日本モンキーセンターとの協働で、「生き物命を感じる」キッズズーをエコ博で開催しました。子ども達は大きな亀に触ったり、大きなトカゲを抱いたり、いろんな生き物と一緒に生きていることを体感してもらいました。



オトカゲ



リクガメ

名古屋港水族館

名古屋港水族館の「移動水族館」がユニーの店舗で開催されました。愛知県で生まれたアカウミガメの赤ちゃんに触れたり、楽しいワイズショーで海の生き物のことを学びました。



アカウミガメ

なごや環境大学 インタープリター養成講座

ユニーが企画提供している市民講座で、「環境にやさしいライフスタイル」を周りの人達に伝えてくれるインタープリターになってもらうためのプログラムを実施しています。養蜂家にミツバチの巣箱を見せてもらい、蜂蜜も少しもらいました。森の中にはいろんな生き物が暮らしていて、森を守ることも大事な役割だということを体感しました。



ミツバチから蜂蜜を採取



森の中にはいろんな生き物